

平成24年 第6回県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報告事項

平成24年度 公立学校教職員定期人事異動の概況について

2 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ① 全県的視野に立った広域交流に努める。
- ② 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ③ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- ④ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- ⑤ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

<校種別の内訳>

校 種	職員数 (人)	異動者数 (人)	異動率 (%)	前年度異動率 (%)
小学校	4, 275	1, 092	25.5	26.6
中学校	2, 644	681	25.8	24.8
高等学校	3, 722	680	18.3	24.8
特別支援学校	1, 230	240	19.5	25.1
合 計	11, 871	2, 693	22.7	25.4

- ① 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数11, 871人中2, 693人が異動し、異動率は22.7% (前年度は25.4%) となっている。
- ② 退職者数は、小学校が181人、中学校が76人、高等学校が133人、特別支援学校が51人で合計441人である。(前年度は493人)
- ③ 管理職への昇任は、校長64人(16)、教頭78人(8)、合計142人(24)である。
* H24 受験者数 校長・教頭 559(84) 合格者数194(40) 合格率34.7(47.6)
H23 受験者数 校長・教頭 561(78) 合格者数230(39) 合格率41.0(50.0)
- ④ 事務長への昇任は、課長相当職2人(0)、班長相当職5人(2)である。()内は女性で内数
- ⑤ 新たな職について、副校長は、小中学校3人、高等学校3人、主幹教諭は、小中学校13人、高等学校2人、特別支援学校3人の配置を行った。
- ⑥ 新規採用者数は、教諭460人、養護教諭30人、事務職員42人、学校栄養職員13人、その他職員25人 合計 570人(前年度: 588人)である。
- ⑦ 高等学校においては、養護教諭24校、教頭26校の複数配置を行った。
- ⑧ 栄養教諭については、単独調理場7人、共同調理場33人の配置を行った。
- ⑨ 高等学校の異動率の減少は、5年から7年の異動者が少なかったこと、特別支援学校の異動率の減少は、人事異動の制度変更後、平成23年度が異動者のピークと重なったことによる。

(3) その他

- ① 小中学校においては、児童生徒数や学級数に応じて配置される基礎定数とは別に指導方法改善加配等の定数516人を配置することで、学校が抱える教育課題の解決に向けて取り組んでいる。
- ② 小学校1・2年生で30人学級を実施し、今年度より小学校3年生で35人学級を実施したことにより、40人学級編制に比べ168名増の少人数学級指導教員を加配配置することができ、指導の充実につながっている。